

問 南風原町は教育や福祉が充実しているという意味で、町長にぜひともインフルエンザワクチンの無料化の復活をしてほしいがどうか。

町長 今年度で財政健全化計画も終わり、財政の回復の兆しがある。基本的に私の方針として可能な限り計画的に前の状態に戻したい。財政を考え検討して段階的に行いたい。



高齢者インフルエンザワクチンの無料化を



おしろ 大城

ゆうた 勇太 議員

【答】 県内市町村の状況等を調査し検討していく

ちゃーがんじゅープランを問う

問 本町の認知症の方への対策に、GPSやドアセンサー等の支援が出来ないか伺う。

保健福祉課長 「どこシル伝言板」というQRコードを用いたICT見守りツールの運用を今年度より開始する。高齢者の衣服等につけたQRで、その方の情報が分かり、登録している家族に連絡が行く形になっている。



認知症等見守りシール「どこシル伝言板」

どこシル伝言板チラシ

公共施設へPFI事業を

問 町民体育館や給食センターはPFI(*)での検討も行うか。

都市整備課長 PFIだけにとどまらず色々な可能性を含めて検討する。

問 津嘉山地区の区画整理はPFIで検討するか。

まちづくり振興課長 地権者の方々と勉強会や、意見交換会を重ねて検討する。

(※)「PFI」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法です。

女性の負担が多い町の見解は



いざ 伊佐

そのえ 園恵 議員

【答】 女性が活躍しやすい環境づくりに取り組む

問 女性の負担が多い。町の見解は。総務省が発表した2021年社会生活基本調査によると、子育て世帯の男性(夫)の家事・育児時間は、なお女性(妻)の4分の1であるという調査結果についてどう考えているか。



副町長 女性活躍を推進していくためには、男性の家事・育児などへの参画に対するさらなる意識改革が必要であると考えている。

問 SDGs、世界的なポジティブアクションの中にもジェンダー平等が含まれているが、子育て介護の負担が大きい女性の活躍をどう支援しているか。

副町長 全ての人が共に家事や育児、介護を担っていけるように、第三次南風原町男女共同参画計画～まじゅんプラン～を策定し、女性が活躍しやすい環境づくりに取り組んでいる。



まじゅんプランはこちらから

まじゅんプランの表紙

問 まじゅんプランを町民はどこで目にすることができるか。

企画財政課長 町のホームページ及び男女共同参画週間である毎年6月23日から29日の期間を活用して、町民ホールやイオン南風原の南風原ギャラリー、中央公民館、ちむぐる館、津嘉山地域資料館、町立図書館等において周知を図を行っている。